中日新聞
夕刊
発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511　電話 052(201)8811
2016年（平成28年）
10月15日（土）

ノーベル賞への登竜門!?
名古屋メダル 脚光

名古屋大が中心となり、毎年、国内外の有機化学者を表彰してきた賞「名古屋メダル」への注目が高まっている。今年、ノーベル化学賞の受賞が決まったオランダなどの研究者三人のうち、二人が過去のメダリスト。化学界では国内トップレベルの賞と知られる半面、一般には「知る人ぞ知る」存在だったが、ノーベル賞で改めて脚光を浴びた形だ。

（社会部・坪井千隼）

名古屋メダルは一九九五年、名古屋大の野依良治特別教授(七)＝二〇〇一年ノーベル化学賞受賞＝と、山本尚中部大教授(七三)＝当時名古屋大教授＝らが「名古屋にちなんだ有機化学の賞を」と発案。名古屋大や、若手研究者の育成などに取り組む公益財団法人「MSD生命科学財団」が主宰してきた。

世界的な有機化学者を輩出してきた名古屋大だが、野依特別教授は「（名古屋大の）研究者たちがいい研究ができたのは、海外の優れた研究者たちに導かれ、切磋琢磨してきたおかげ。感謝の気持ちを示したかった」と思いを振り返る。

刀の鍔の形に、カキツバタがデザインされた「名古屋メダル」の金メダル㊤と銀メダル＝MSD生命科学財団提供

今年の化学賞2氏も栄誉

メダルは戦国時代の三英傑を輩出した愛知県にちなみ、日本刀の「鍔」と県花「カキツバタ」をあしらったデザイン。顕著な業績を挙げた海外の研究者に「金メダル」、今後の活躍が期待される国内の若手研究者に「銀メダル」が贈られる。受賞者は名古屋大での授賞式に出席し、記念講演会を開くのが決まりだ。

これまで計二十一人が金メダルを手にしたが、うち〇四年のフレーザー・ストダート氏（米国）と、一三年のベルナルド・フェリンガ氏（オランダ）が今年、ノーベル化学賞の受賞者に選ばれた。過去には一九九七年金メダルのロバート・グラップス氏（米国）も〇五年に化学賞を受賞しており、ノーベル賞に輝いた名古屋メダリストは三人となった。

ノーベル賞の先行指標として世界に知られる賞は大抵、受賞者の20～30％が後にノーベル賞を受けている。二十一人中、三人（14％）の名古屋メダルも指標の一つになりつつある。

山本教授は「メダルの受賞者からノーベル賞受賞者はもっと出てくると思う。抜群の功績を挙げた人たちが選ばれてきた」と話す。現在、メダルの選考委員長を務める名古屋大の伊丹健一郎教授(四七)は「ノーベル賞が追い風になって、若い研究者や学生が羽ばたくきっかけになってくれれば」とさらなる飛躍に期待する。

本年度の名古屋メダルは、米マサチューセッツ工科大のステファン・バックワルド教授に金メダルが、北海道大の沢村正也教授に銀メダルが贈られる。来年一月二十七日に名古屋大で二人の授賞式と記念講演がある。

㊤野依良治名古屋大特別教授㊨から「名古屋メダル」を贈られ笑顔を見せるベルナルド・フェリンガ氏＝2013年11月、名古屋市で（名古屋大提供）　㊨フレーザー・ストダート氏＝ロイター・共同

弁護士法人 愛知県弁護士会所属
しょうぶ法律事務所
名古屋・西尾・岐阜・赤池
お気軽にご相談ください。
(代)052-223-5555
www.shobu-law.com

スマホで便利
中日新聞プラス
登録のお問い合わせは
0120-664411

きょうの紙面

南阿蘇 おふくろの味再び 11
最近1週間 南スーダンで60人死亡 3
漫画家 人間派 曽根富美子さん 7
最高裁 預貯金 遺産分割対象へ 10